

# グラフdeセンサス2015

グラフ

で

見て学ぶ

農林業センサス

## 第2回 農家

2016年（平成28年）  
7月発行  
東海農政局統計部

### 20年間の農家数の推移をみると…

#### 農家数は3県とも大幅に減少

東海3県の販売農家を20年前（平成7年）と比べてみると、岐阜県は54%減少し2万8,511戸、愛知県は52%減少し3万5,068戸、三重県は54%減少し2万5,696戸となり、3県とも5割以上減少しています。

次に自給的農家を比べてみると、岐阜県は10%増加し3万2,279戸、愛知県は16%増加し3万8,765戸、三重県は7%減少し1万7,225戸となりました。その結果、販売農家と自給的農家を合わせた農家数は、3県とも大幅に減少しています。

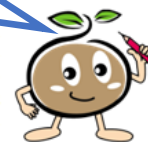
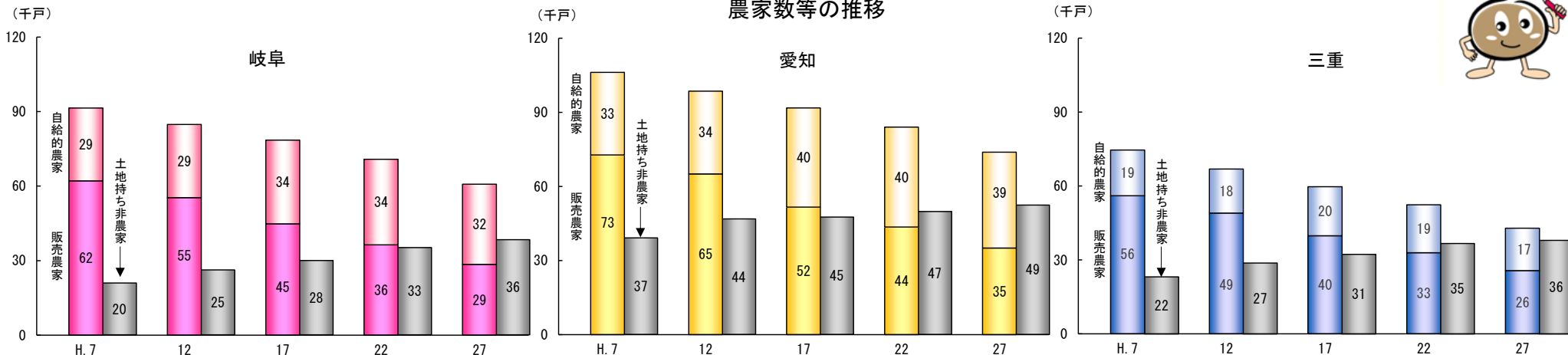
なお、土地持ち非農家は20年間で岐阜県は84%増加し3万6,092戸、愛知県は34%増加し4万9,446戸、三重県は64%増加し3万5,901戸となり、販売農家や自給的農家から移行していることが考えられます。

◎農家 = ○販売農家 + ○自給的農家

- ◎農家・・・経営耕地面積が10a以上又は農産物販売金額が15万円以上の世帯。
- 販売農家・・・経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家。
- 自給的農家・・・経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家。

★土地持ち非農家・農家以外で耕地及び耕作放棄地を合わせて5a以上所有している世帯。

農家数等の推移

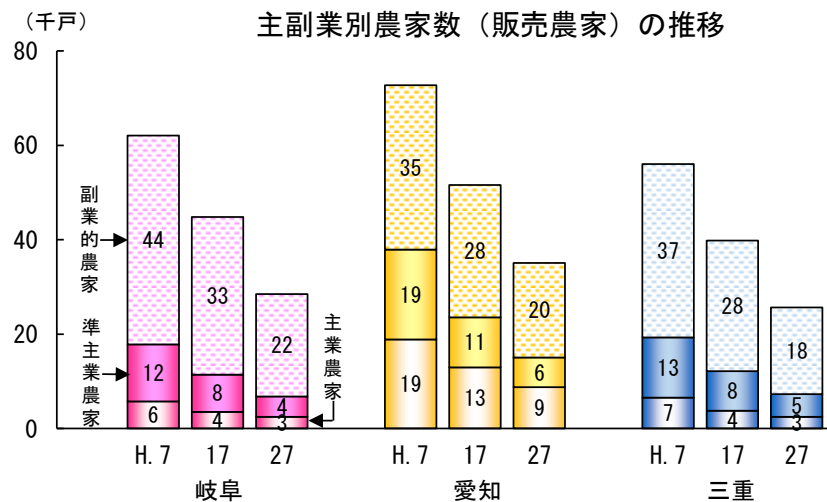


# 主副業別に販売農家数をみると…

## 主業・準主業・副業的農家のすべてで減少

販売農家を主副業別区分で20年前（平成7年）と比べてみると、主業農家は岐阜県が56%減少し2,522戸、愛知県が54%減少し8,754戸、三重県が62%減少し2,520戸。準主業農家は岐阜県が64%減少し4,306戸、愛知県が67%減少し6,318戸、三重県が63%減少し4,763戸。副業的農家は岐阜県が51%減少し2万1,683戸、愛知県が43%減少し1万9,996戸、三重県が50%減少し1万8,413戸となり、どの区分においても東海3県とも大幅に減少しています。

参考までに平成27年の販売農家に占める主業農家の割合は、都府県平均の21%に対し、岐阜県が9%、愛知県が25%、三重県が10%となり、愛知県の割合が高くなっています。



### 主業農家

農業所得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で、調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる農家

### 準主業農家

農外所得が主（農家所得の50%未満が農業所得）で、調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる農家

### 副業的農家

調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない農家（主業農家及び準主業農家以外の農家）

## ココに注目！

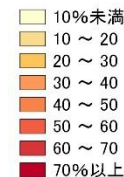
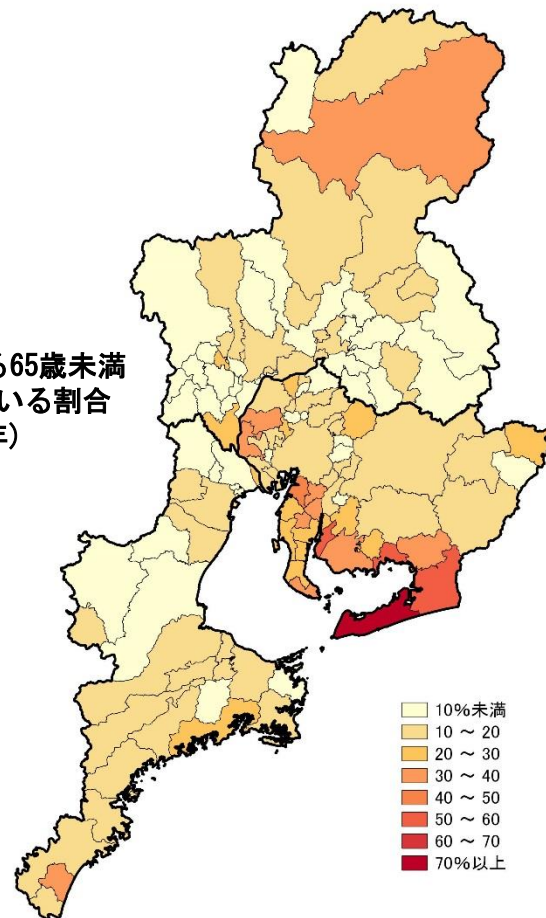


愛知県は65歳未満の農業専従者（150日以上従事した者）がいる割合が高い

東海3県の125市町村をみると、1位が田原市の76%、2位が碧南市の52%となっており、上位30位までのうち25市町村を愛知県が占めています。

なお、岐阜県の上位は、高山市が31%で14位、海津市が29%で16位。三重県では、御浜町が33%で12位、木曾岬町が26%で19位となっています。

販売農家に占める65歳未満の農業専従者がいる割合（平成27年）



# 販売金額規模別に販売農家数をみると…

## 100万円未満では稲、5,000万円以上では畜産が大半を占める

農産物販売のあった農家を販売金額規模別にみると、東海3県では100万円未満が5割以上を占めていますが、愛知県では1,000万円以上が5,699戸と、岐阜県、三重県及び都府県平均と比較しても農家数が多くなっています。

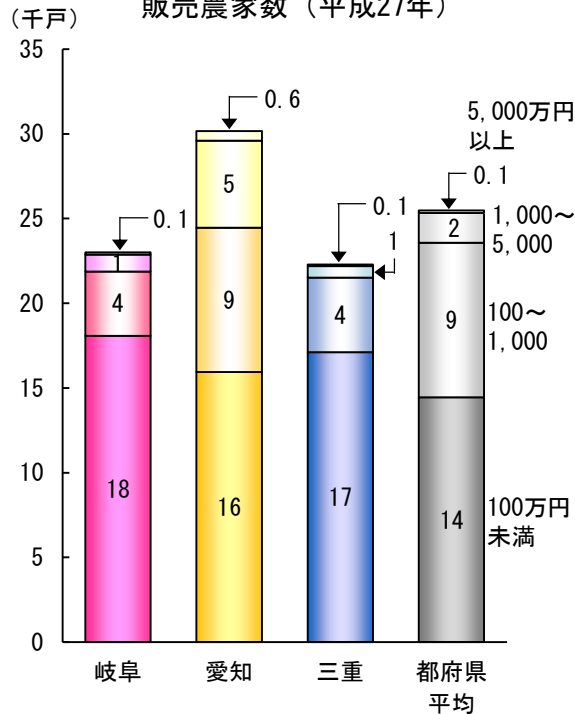
次に販売金額規模別に1位部門の割合をみると、販売金額100万円未満では、3県とも稲部門が7割以上を占めています。100～5,000万円未満では、岐阜県及び愛知県の野菜類部門の割合が高くなっているものの、三重県では100～1,000万円未満の稲部門が5割以上を占めています。5,000万円以上では、畜産部門の割合が高く、3県とも5割以上を占めています。

### ランキング

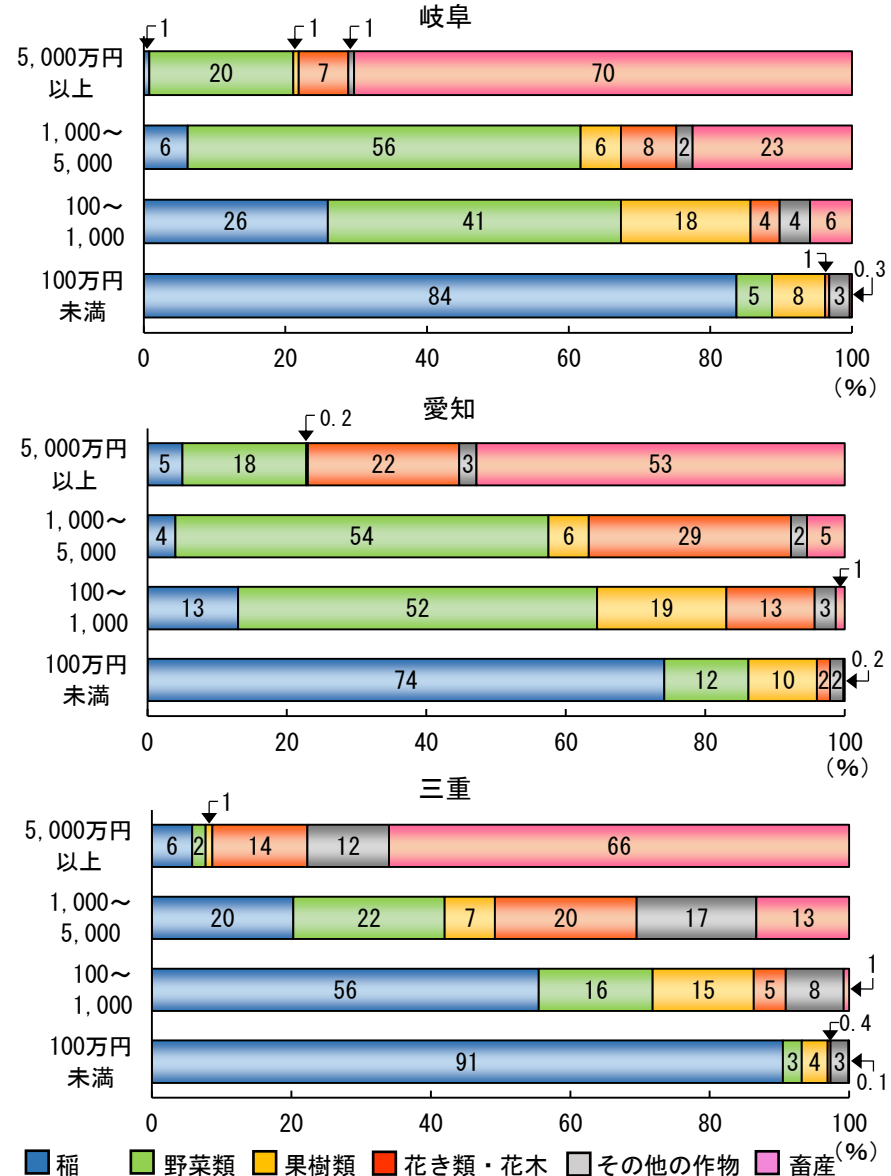
#### 販売金額5,000万円以上の農家数（平成27年）

順位	市町村	農家数
1位	田原市	208
2位	豊橋市	89
3位	豊川市	57
4位	高山市	45
5位	西尾市	41
6位	鈴鹿市	37
7位	愛西市	17
8位	半田市	15
8位	豊田市	15
10位	碧南市	14

農産物販売金額規模別にみた販売農家数（平成27年）



農産物販売金額規模別にみた1位部門の販売農家数の割合（平成27年）



※四捨五入のため、計と内訳の積み上げが一致しない場合がある（以下、同じ。）。

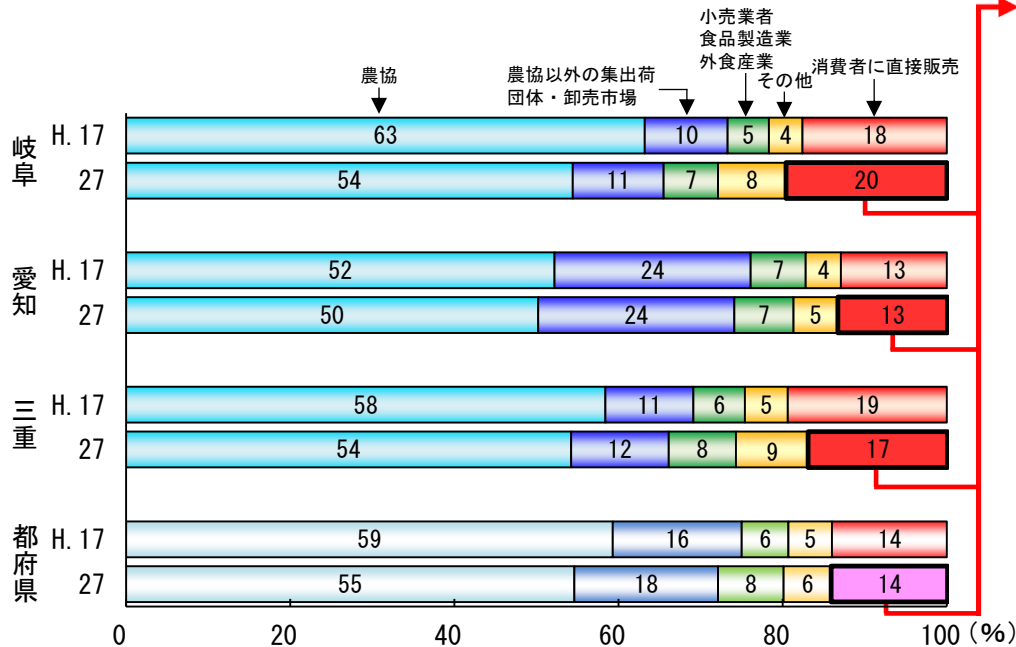
# 農産物出荷先別に販売農家数をみると…

## 出荷先別に変化がみられ農協出荷が減少

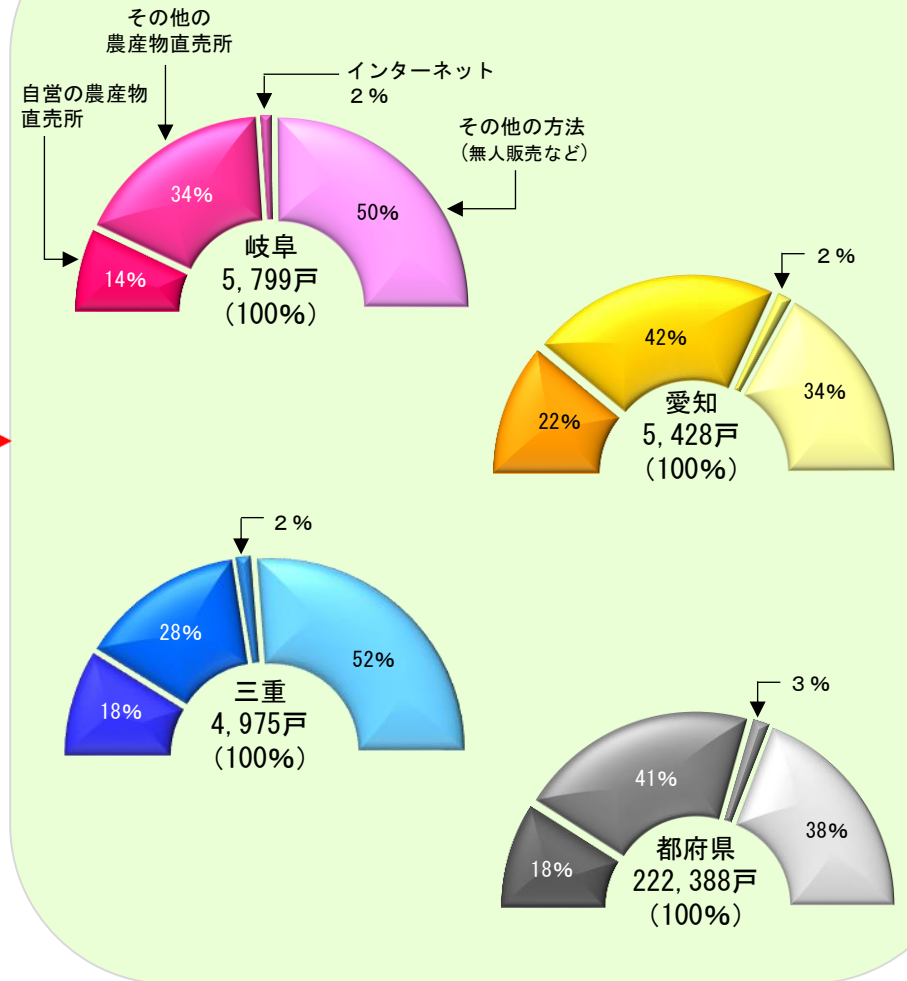
農産物販売のあった農家において農産物出荷先の割合をみると、平成17年と比べ平成27年は東海3県とも農協出荷が減少しています。出荷先が農協から農協以外の集出荷団体・卸売市場、小売業者・食品製造業・外食産業などへ変化しており、特に岐阜県では農協出荷が9ポイント減少しています。

また、消費者に直接販売した内訳をみると、愛知県では自営・その他の農産物直売所が64%を占め、岐阜県及び三重県では、無人販売などのその他が50%以上を占めています。なお、インターネットによる直接販売は、3県とも2%にとどまっています。

農産物出荷先別農家数の割合（複数回答）



農産物出荷先別農家数のうち「消費者に直接販売」の内訳（平成27年）



### お問い合わせ先

東海農政局 統計部 経営・構造統計課  
 電話：(052) 763-4731  
 FAX：(052) 763-4709